

政策番号	6	政策分野	文化
------	---	------	----

基本方針	くらしのなかに文化芸術がいきいきと息づき、ひとびとの豊かな感性が育まれるとともに、そこで生まれる活力やにぎわいが、まちの活性化につながることをめざして、文化芸術とまちづくりを一体化させた取組を促進する。このような取組を通じて、京都を魅力に満ちあふれた世界的な文化芸術都市として創生する。
------	---

担当局	文化市民局	共管局	
-----	-------	-----	--

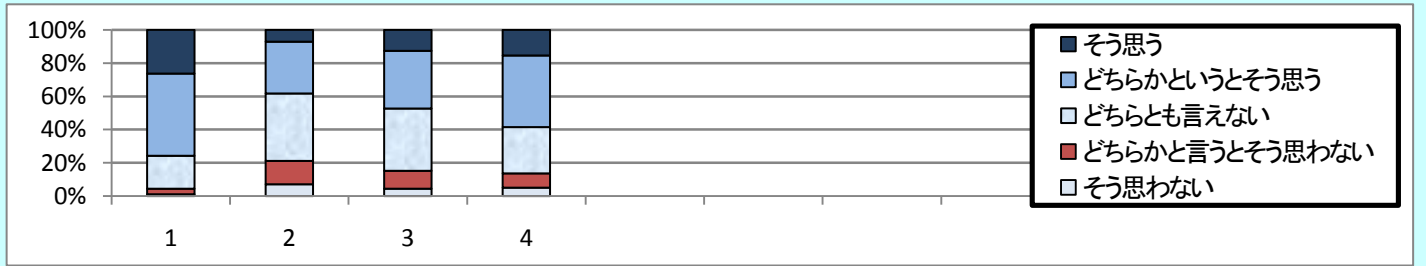
政策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度 評価値	32年度 目標値	年 度	23 年度	24年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	市民ふれあいステージ出演申込数(件)	103	—	-	a	92	103	100	103.0%	a
2	京都市芸術文化特別奨励制度応募者数(件)	77	—	-	d	77	72	110	72.0%	d
3	文化施設の年間入場者数(人)	3,125,718	—	-	d	3,125,718	3,399,819	3,470,802	98.0%	b
4	本市が指定、登録した文化財の数(件)	7	—	-	b	7	6	9	66.7%	c
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価					c					b

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		年度	23年度	24年度
1	京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである。	-	a	a
2	市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。	-	c	c
3	文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	-	b	b
4	文化財が社会全体で大切にされ、地域の活性化にもつながっている。	-	b	b
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
市民生活実感調査総合評価			b	b



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

年度		23年度		24年度	
順位	%	順位	%	順位	%
-	-	15	14.5%	14	15.3%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている		
【客観指標】・市民ふれあいステージについて、昨年度は国民文化祭に集約されたことから非開催だったため、昨年度の評価結果のままとしている。 ・京都芸術文化特別奨励制度の応募者数は、ほぼ前年度並みではあるものの、過去5年間の最高値という目標値には届かず、昨年同様、d評価となった。 ・文化施設の年間入場者数については、国民文化祭の開催等により、前年から大きく増加したものの、過去5年間の最高値という目標値には届かず、b評価となった。 ・文化財の指定・登録数について、文化財保護審議会に諮問した案件は、すべて指定・登録されたものの、ほぼ例年並みの件数となり、c評価となった。		23年度	C
【市民の実感】・市民の実感については、全体として昨年と同様の評価となった。 ・文化芸術の市民生活への普及については、「どちらとも言えない」との回答が多いものの、文化芸術活動の活発さは高く評価されており、文化芸術によるまちの活性化等についてもかなり肯定的に評価されている。		年度	-
【総括】・市民自身に文化芸術を身近に感じてもらう余地はうかがえるものの、総じて取組に見合った市民の実感を得た。 ・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、かなり達成されていると評価する。			

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	評価結果			参照ページ
			23	24	
0601	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり	-	C	B	87
0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援	-	B	B	89
0603	世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上	-	C	B	91
0604	かけがえのない文化財の保護、活用と伝承	-	A	A	93

<今後の方向性>

- ・世界的な文化芸術都市・京都の創生を目指し、継承と創造に関する人材の育成等、創造環境の整備、文化芸術と社会の出会いの促進の3点を重視し、文化芸術によるまちづくりを進める。
- ・継承と創造に関する人材の育成においては、伝統芸能文化のさらなる創生に向けた取組や、芸術家の育成・活動支援、文化芸術に親しみ、その楽しさを知る子どもたちの育成に取り組む。
- ・創造環境の整備においては、京都会館の創造・発表拠点としての再整備や、国内外との文化芸術交流による質の高いコミュニケーションの促進等に取り組む。
- ・文化芸術と社会の出会いの促進においては、市民が文化芸術及び芸術家と出会う機会を充実するなど、文化芸術とくらしを改めて結び付けるための取組を推進する。

政策名	6	文化
-----	---	----

指標名	市民ふれあいステージ出演申込数（件）		
-----	--------------------	--	--

担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6 - 0 0 3 3
------	-----------	-----	-----------------

1 指標の説明

市民ふれあいステージ（市民に文化活動の場を提供し、多くの方が気軽に文化芸術に触れる機会を創出するため、市民参加型の催しとして、毎年10月に開催）への出演申込数

2 指標の意味

文化芸術が市民の日常生活の中に溶け込んでいることを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	103	—	平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	92	103	11件増	100	過去5年間の最高値（平成20年度）	103.0%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準

最新の数値が、過去5年間の
a：最高値以上
b：最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：上中間と平均値の間
d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e：下中間以下

6 基準説明

申込数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。
最高値：100（平成20年度）
平均値：93
最低値：82（平成18年度）

7 評価結果

	23	24
-	a	a

指標名	京都市芸術文化特別奨励制度応募者数（件）		
-----	----------------------	--	--

担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6 - 0 0 3 3
------	-----------	-----	-----------------

1 指標の説明

京都市芸術文化特別奨励制度（将来に向けて積極的な芸術文化活動を行う、若い芸術家等の育成を目的として奨励金を交付）への応募者数

2 指標の意味

文化芸術の新たな創造活動が活発に行われていることを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	77	—	平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	77	72	5件減	110	過去5年間の最高値（平成19年度）	72.0%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準

最新の数値が、過去5年間の
a：最高値以上
b：最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：上中間と平均値の間
d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e：下中間以下

6 基準説明

応募者数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。
最高値：110（平成19年度）
平均値：84
最低値：70（平成20年度）

7 評価結果

	23	24
-	d	d

政策名	6	文化	
指標名	文化施設の年間入場者数（人）		
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6－0 0 3 3
1 指標の説明			
文化施設（動物園，美術館，二条城，無鄰菴）の利用者数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
幅広い市民が多彩な文化芸術に親しんでいることを示す指標		出典：事業担当課調べ	
4 数値			
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 3,125,718	平成32年度目標値 －	根拠 平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す
	前回数値 22年度 3,125,718	最新数値 23年度 3,399,819	推移 274,101人増
	数値	単年度目標値 根拠 過去5年間の最高値（平成21年度）	達成度 98.0%
	全国順位	中長期目標 数値 目標年次 達成度 根拠	備考 H18 2,935,015人 H19 3,107,667人 H20 2,892,436人 H21 3,470,802人 H22 3,125,718人
5 評価基準		6 基準説明	
最新の数値が，過去5年間の a：最高値以上 b：最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間 c：上中間と平均値の間 d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間 e：下中間以下		利用者数は毎年変動するものであり，一定安定的な数字と比較するため，過去5年間の数値をもとに，基準を設定した。 最高値：3,470,802（平成21年度） 平均値：3,199,288 最低値：2,892,436（平成20年度）	
		7 評価結果	
		23	24
-		d	b

指標名	本市が指定，登録した文化財の数（件）		
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6－1 4 9 8
1 指標の説明			
本市が指定，登録した文化財の数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
かけがえのない文化財が保護されていることを示す指標		算出方法：事業担当課調べ 出典：京都市教育委員会告示	
4 数値			
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 7	平成32年度目標値 －	根拠 平成27年度～平成31年度の指定，登録文化財件数の最高値を目指す
	前回数値 22年度 7	最新数値 23年度 6	推移 1件減
	数値	単年度目標値 根拠 過去5年間の最高数値（平成21年度）	達成度 66.7%
	全国順位	中長期目標 数値 目標年次 達成度 根拠	備考 H18 4件，H19 6件， H20 4件，H21 9件， H22 7件
5 評価基準		6 基準説明	
最新の数値が過去5年間の a：最高値以上 b：最高値と平均値の間 c：平均値 d：最低値と平均値の間 e：最低値以下		指定・登録件数は毎年変動するものであり，一定の数字と比較する。過去5年間の数値をもとに，基準値を設定した。 最高値：9件（平成21年度） 平均値：6件 最低値：4件（平成18,20年度）	
		7 評価結果	
		23	24
-		b	c